

教科 国語 学年 第1学年

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
言葉に出会うために	授業ひらき 国語の授業について/ 自己紹介/朝のリレー	○国語の授業の受け方、学習の仕方を理解する。 ○ノートの取り方や予習復習の仕方を紹介をする。 ○漢字練習や文字の書き方などの指導をする。 ○各自の自己紹介をする。 ○音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。	○授業への取り組み方について理解できている。 ○ノートの取り方や筆順、文字の形などに注意して正しく「書く」ことを意識している。 ○漢字ノートの使い方を理解し、漢字を正しく理解しようとしている。 ○自分のことを表現している。	○国語の授業に取り組むための準備をしている。 ○知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を身につけようとしている。 ○漢字を正しく覚え、思考力・表現力を伸ばそうとしている。 ○プレゼンテーション能力を高めようとして工夫している。	○ノートを取るなどして、理解を深めようとしている。 ○授業、家庭学習などの目標を立て、実際に取り組んでいる。 ○漢字ノートを活用し、漢字を正しく覚えようとしている。 ○表現力をつけ、積極的に発表に取り組んでいる。
	野原はうたう/書き留める 言葉を調べる	○音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ○言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	○音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ○聞き手を意識して声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の大きさや高さを工夫している。	○詩を「読むこと」において、表現技法を理解し、想像力や創造力を高めようとしている。	○音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
1 学びをひらく	はじまりの風	○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。	○場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。
	情報を聞き取り、要点を伝える	○紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見を述べたりする。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	○聞き取った情報を進んで整理し、学習課題に沿って、要点を伝えようとしている。
	言葉1 音声の仕組みや働き 漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	○音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。	○音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。	○言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	○学習課題に沿って、積極的に漢字を讀んだり書いたりしようとしている。
	話の構成を工夫しよう	○自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。	○音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。	○「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。	○話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
2 新しい視点で	ダイコンは大きな根?	○説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	○文章の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。
	ちょっと立ち止まって	○説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	○進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
	情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して説明しよう	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	○情報の整理のしかたについて積極的に理解を深め、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。
3 言葉に立ち止まる	空の詩 三編 言葉3 さまざまな表現技法	○詩を創作し、感じたことや考えたことを書く。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	○詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
	比喩で広がる言葉の世界	○解説の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。	○比喩などの表現の技法を理解し使っている。	○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	○進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
	文法への扉1	○単語の類別について理解することができる。	○単語の類別について理解している。	○「読むこと」に生かす」を読み、段落に着目して読むことで、説明的な文章の内容や構成が捉えやすくなることを理解する。	○今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
× S D G 情報	情報収集の達人になろう	○本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	○引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書こうとしている。
本はいそげに	読書を楽しむ	○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。	○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	○言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のもよりの評価規準			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4 心の動き	大人になれなかった弟たちに……	○物語を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。	○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。	○登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。
	星の花が降るころに	○小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	○「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。	○進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
	項目を立てて書こう	○行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	○必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
	[推敲]読み手の立場に立つ言葉4 方言と共通語	○行事の案内を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。	○粘り強く文章を推敲し、今までの学習を生かして案内文を書き改めようとしている。
	聞き上手になろう	○紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見を述べたりする。	○音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。	○「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。	○進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。
	漢字2 漢字の音訓 漢字に親しもう2	○文や文章の中で使うことができる。	○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。	○漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。	○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
5 筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	○記録の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめる。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	○「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。	○文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
	根拠を明確にして書こう	○本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	○「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	○根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
	漢字に親しもう3 文法への扉2	○言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。	○「文節どうしの関係」「連文節」「文の成分」「文の組み立て」について、理解を深めている。	○今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
	聴きひたる 大阿蘇	○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○詩の朗読を聞いて、それぞれの言葉がどのように使われているかを考えている。	○進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。
6 いにしえの心にふれる	古典の世界 蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から	○古文を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。	○音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。	○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめるものになっている。	○進んで古文を音読し、今までの学習を生かして描かれている古典の世界を想像しようとしている。
	今に生きる言葉	○漢文を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。	○音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。	○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめるものになっている。	○積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
7 価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す	○説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめる。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	○必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。
	思考のレッスン2 原因と結果 漢字に親しもう4	○言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	○小学校で学習した漢字を使って文章を作ったり、中学校で学習する漢字の読み方について理解したりしている。	○今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
	進め方について考えよう 話題や展開を捉えて話し合おう	○互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。	○意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	○「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	○積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見通しをもってグループで話し合いをしようとしている。

単元名		単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のもとの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
8 自分を見つめる	いつも本はそばに	○学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことを報告したり資料にまとめたりする。	○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
	少年の日の思い出漢字に親しもう5	○小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	○文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
	文法への扉3	○言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	○単語の類別について理解している。	○「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。	○今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
	二十歳になった日	○随筆を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	○進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものを見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。
	構成や描写を工夫して書こう	○随筆など、感じたことや考えたことを書く。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	○粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
	漢字3 漢字の成り立ち	○言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。	○言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	○学習課題に沿って、積極的に漢字の成り立ちについて理解しようとしている。
	一年間の学びを振り返ろう	○紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	○「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	○集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点を資料にまとめ、発表しようとしている。
ほくが ここに	○詩を読み、考えたことなどを伝え合う。	○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	○積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。	
学びを深める	国語の力試し	○説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。	○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	○今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。